



# SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2009～2010年度 RI会長 ジョン・ケニー

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS ロータリーの未来はあなたの手の中に

クラブ会長基本テーマ「笑顔で奉仕 楽しい仲間作り」 会長 山梨一正  
副会長 西原克甫 幹事 中山和雄

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F  
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-r.c.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

## 第980回 例会 2009.12.11 (金) 雨

司会:土屋巧君 指揮:山本章君  
ロータリーソング 「我等の生業」

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ  
会長 山梨一正君

今日は、昨晚の我が家での話を紹介します。5年ほど前に、妻と娘がトルコに旅行に行ったときの話です。娘はトルコについて事前に知識を持っていたのだと思いますが、親日的であるトルコ人は東洋の日本と言う国を皆さん関心を持っていたとのこと、どこへ行っても日本人に大変やさしく親切であったそうです。しかし、トルコがなぜ親日的なのかが今朝解りました。それは、和歌山県の南端に大島があり、その東に灯台が明治三年（1870年）に築造され、今も断崖の上に立っているとのこと。台風が大島を襲った明治23年9月16日の夜、トルコの木造軍艦が難破し、600人余りのトルコ人が岩場に打ち上げられ発見した灯台守は50軒ほどの檜野の村人に知らせ、遠い国から来て日本で死んでいくトルコの方々を一人でも多く助けようと自分の体温で体を温め、「死ぬな、元気を出せ、生きるんだ。」と必死に救助し、69名の命を助けた。船の名はエルトゥールル号である。助かった人々は檜野の小さな寺と小学校に収容され、貧しい小さな村の食料、全てを与え、非常食として飼っていた鶏まで提供し、食料が尽きたとき、県知事その知らせが届き、そして日本政府、天皇陛下までを動かし、亡くなられた方々を丁寧に埋葬し、全国から集まった義援金を遺族に送り、日本軍艦2隻にて送り届けた史実があったとのこと。それから100年後、1985年3月17日、イラクのサダム・フセインが今から48時間後にイラン上空を飛ぶ全ての飛行機を打ち落とすと無茶苦茶なことを世界に向けて発信した。イラン・イラク戦争である。日本からは企業の人たちやその家族がイランに住んでいた。あわてて向かったテヘラン空港ではどの飛行機も満席で乗ることができなかった。世界各国は時刻の飛行機を出して救出していたが、日本政府はすばやい対応ができず、空港にいた日本人はパ



ニック状態になっていた。そこに2機の飛行機が到着した。トルコ航空機であった。日本人215名全員を乗せて成田に向けて飛び立った。タイムリミットの1時間15分前の出来事であった。なぜトルコ航空機が着てくれたのか？日本政府もマスコミも知らなかった。後日、元駐日トルコ大使、ネジアティ・ウトカン氏は語られた。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メーカーアップ	修正出席率
前々回	29/39	74.36%	32/39	82.05%
今回	29/38	76.32%	会員総数	39名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

石井(司)君、岡君、金澤君、川村君、杉山君、中山君、矢岸君、山上君、米山君



### 幹事報告

副幹事 内田憲一君

1. 日本ロータリーより親睦ゴルフ大会の案内が来ております。ご希望の方は幹事まで連絡ください



### スマイルボックス

山本良一君: 本日、短い卓話です。よろしく。

加藤正幸君: 来週クリスマス会です。楽しみにしててください。親睦委員皆で頑張ります。

片野誠一君: 所用のため早退させていただきます。

内田憲一君: すみません。早退します。

## 卓話

### 公共事業について

山本良一君

「建設業50万社半減で列島激震、公共事業削減ショックが襲う。」

週刊ダイヤモンド誌のタイトルであり、「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズにて民主党の公共工事の削減です。

すでに平成4年の84兆円をピークとする建設投資は年々減少し、平成22年には半分の42兆円を割る予測です、小泉内閣以来毎年3%の公共事業削減で推移してきましたが民主党は21年度補正予算見直しで9170億円を凍結、また22年度概算要求予算では14%もの削減となります。民主党マニフェストには4年間で1兆3千億円の削減となっていました。4年分を上回る削減となりました。

地方へ行くほど「公共事業が唯一の地場産業」と言われます、北海道、東北、北陸、山陰地方の17道県では建設投資の半分以上を公共事業がしめる、まさに公共事業に依存している地域が多くあり、大幅な公共事業削減は地方の経済や雇用にも大きな影響を与えます。公共事業削減の中でも減少がなく今後増加が見込まれるのが「保守管理」と言われる補修工事です、何十年と経過した橋、トンネルなどがいつ何時、生命の危険が及ぶかもしれないだけに、計画的な管理と補修の先延ばしは許されません。

道路保守管理も、舗装補修、ガードレール交換、草刈、ゴミの除去等、交通車両が安全に通過できる保守管理が必要です。

公共事業削減のなかでも生活に関連した身近な公共事業、環境や景観に配慮した、また地域の安全と安心のためにも社会資本整備は今後とも継続的に必要です。

## 卓話

### 今年一年を振り返って

大房正治君

今年1年を振り返ってみますと、先ず選挙が3回もあり、結果は流行語にもなりました「政権交代」です。

「白雲自去来」のごとく、自然に逆らわず変わって行かなければならないのかな・・・と感じます。

そして、今や世の中はデフレの真只中！物価は下がり、給料も下がって失業者が多くなるという、いわゆる「デフレスパイラル」現象が起きています。また、問題を抱えながらも富士山静岡空港の開港もありました。

いろいろな意味で大変な1年でしたが、その中での三島市はというと、7月に伊豆縦貫道の一部が開通し、車の流れが大きく変わりました。また三島駅北口には「大岡信ことば館」のZ会・東横インホテルがオープン、さらに計画中の日大など・・・そして南口の東街区市街地再開発、順天堂の看護大学の設立・・・三島

駅南北が大きく変わろうとしています。街中は電線地中化になり、その景観が変わるとともに「三島の宝」であります「楽寿園」から「せせらぎ」を結んだ「佐野美術館・大社」とエポックメイキング的な着地型観光が必要で、三島にはまだまだ沢山これらの隠れた観光資源が残されています。

「行ってみたい街」、「住んでみたい街」を、これからも提案し実現していきたいと思います。

## PHOTO GALLERY

